

(4)ひきこもり地域支援センターについて

運営体制 1/2

1. 設置年月 平成28年2月1日
2. 対象者 ひきこもり状態にある方及びその家族等
3. 設置場所 千葉市こころの健康センター内
(美浜区高浜2-1-16)
4. 開所日 週5日(月～金、祝日・年末年始を除く)
9時から17時
5. 業務内容 電話、来所等による相談、助言、家庭訪問等の
アウトリーチ型支援

運営体制 2/2

6. 運営形態 委託（特定非営利活動法人ユニバーサル就労ネットワークちば）
7. 支援体制
 - ア ひきこもり支援員6人による相談・支援の実施
 - イ ケース検討や支援方針の協議等を行うため、支援員及びこころの健康センター職員により構成する会議を定期的
に開催
8. その他 若葉区役所内に出張相談所を開設（令和2年度～）
開設日時：毎週月・金曜日（祝日・年末年始を除く）
10時から16時（事前予約制）

相談実績

- R5年度は12月末現在で昨年度の相談件数を超過
- メールによる相談が急増
- 若葉区出張所は相談件数が減少

相談件数（延べ）		R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度 12月末現在
	電話	811	813	757
来所	センター	585	495	602
	若葉区出張所	58	52	25
訪問	自宅	130	160	111
	自宅以外	48	66	66
	メール	38	40	122
	その他	91	113	114
	計	1,761	1,739	1,797

相談実績(令和5年度12月末現在)

1 相談者の続柄 (複数回答)

	本人	家族	その他	合計
相談者の続柄	820	869	301	1,990

2 初回相談における対象者の内訳

	男性	女性	不明	合計
性別	114	40	4	158

	19歳 まで	20歳 代	30歳 代	40歳 代	50歳 代	不明	合計
年齢層別	23	39	25	29	23	19	158

居場所活動実績(令和5年度12月末現在)

ひきこもり当事者の社会参加と自立を目指すための場として、ひきこもり地域支援センターにて居場所活動を実施している。

実施日	活動内容	参加人数
原則として 毎週1回 各回2時間程度 (34回実施)	<ul style="list-style-type: none">・軽い運動 (ウォーキング、ヨガなど)・創作活動 (切り絵、折り紙など)・外出活動 (稲毛海浜公園など)・その他 (ボードゲームなど)	延93人 (平均2.7人)

ひきこもりサポーターの養成と派遣

地域に潜在するひきこもりの方を早期に発見し、支援につなぐ役割を担う「ひきこもりサポーター」を養成し、ひきこもり地域支援センターにおける居場所活動での支援に繋がっている。

(令和5年度12月末現在)

ひきこもりサポーター 登録者数	ひきこもり地域支援センターにおける 居場所活動での支援
52人	34回

普及啓発

1 ひきこもりに関する講演会の開催（令和5年度）

	1回目	2回目
タイトル	ひきこもり状態をめぐる家族のコミュニケーション	こころがホッとする居場所がありますか？
講師	東京学芸大学教育心理学講座 准教授 福井里江氏	公益社団法人青少年健康センター 副会長 井利由利氏
日時	令和5年7月7日（金）	令和5年11月20日（月）
場所	こころの健康センター	こころの健康センター
参加者数	80人	57人

2 ひきこもり家族のつどい（令和5年度12月末現在）

ひきこもりの家族同士が、グループで話す事で思いや悩みを共有し、家族が孤立せずに安心できるよう、今できる事や対応などを一緒に考える場。

（偶数月の最終金曜日に開催（12月は土曜日開催）計5回・延べ19人参加）

課題

- 8050問題に象徴されるように、ひきこもり支援には、何年もの時間がかかるケースが多く、なかなか支援終了とはならないため、継続支援するケースが年々増えている状況。
- 令和5年度に入り相談件数が急増しており、現在の人員体制で十分な対応が困難となってきた。
- 一方で、若葉区出張相談所の利用者は減少しているため、利用者のニーズに合った支援体制を検討する必要がある。